

13 長野市文化財保存活用地域計画【長野県】

資料 1

【計画期間】令和6～13年度（8年間）

【面 積】834.85km²

【人 口】約36.6万人

【関連計画等】歴史的風致維持向上計画

指定等文化財件数一覧

類型		国 指定・ 選定	国 選定	県 指定	市 選定・ 選定、○は 名跡・天然記念物	市 選定	国 登録	合 計
有形文化財	建造物	8		11	65		136	220
	繪画	2		2	8		0	12
	彫刻	15		8	27		0	50
	工芸品	3		7	15		0	25
	書跡・美術	2		2	2		0	6
	古文書	0		0	10		0	10
	考古資料	0		1	12		0	13
	歴史資料	1		0	3		0	4
無形文化財		0	0	0	7	0	0	7
民俗文化財	有形の民俗文化財	0		1	14		0	15
	無形の民俗文化財	0	1	4	9	8	0	22
記念物	造跡	6		5	46		0	57
	名勝地	0		1	4(1)		8	13(1)
	動物・植物・地質遺物	1		16	69		0	86
文化的景観		0						0
伝統的緑道遺産		1						1
合計		39	1	58	291(1)	8	144	541

指定等文化財は541件
未指定文化財は4,103件把握

推進体制

長野市	観光文化部文化財課・埋蔵文化財センター・松代文化施設等管理事務所・博物館・文化芸術課・観光振興課、都市整備部まちづくり課、地域計画WG
協議会	長野市文化財保存活用地域計画協議会
地方文化財保護審議会	長野市地方文化財保護審議会
関係行政機関	文化庁、国立文化財機構文化財防災センター、長野県県民文化部文化振興課
その他民間団体等	長野市文化財保護協会、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、(公財)長野県建築士会、長野県文化財レスキューネット、長野郷土史研究会ほか



長野市の主要交通網

② 人々が交わる地「長野」

長野市は古くから内陸の山間地と日本海側をつなぐ交通の要衝であった。戦国時代に信玄と謙信が激突した川中島の戦いは口マンを掻き立てる。江戸時代には北国街道が整備され、北信濃の大動脈となった。他地域との交流が生まれ、多様な文化が蓄積される場となつた。



善光寺道名所図会

④ 政治経済の中心「長野」

古墳時代には前方後円墳などヤマト政権との結びつきを示す文化財が存在する。善光寺の周辺には古代官庁跡を示す地名が残る。近世に真田家の城下町松代が発展し、明治時代に県都として近代インフラが整備された。中央通りには洋風の商家が建てられ、市街地の景観が形成された。



旧長野県庁舎

歴史文化の特性

① 大地の激動がもたらした恵みと災い

長野市は北部フォッサマグナに位置する。市域は盆地と東西の山地からなる。市域の最高峰高妻山も海底が隆起してできた。地殻変動は現在も続き、西縁断層の動きにより盆地が沈降し、河川が扇状地や氾濫原など多彩な自然環境をつくった。地下資源として油田、石材、湧水や温泉といった恵みをもたらす一方で、地震や水害といった災害をもたらしている。



駒ヶ岳の石切場

③ 信仰が息づくまち「長野」

善光寺は中世以降、社会の様々な人々と結縁する開かれた靈場として信仰を集め、門前も発達した。修験の聖地であり、水を司る神として知られた戸隠山や、近世に地域の修験者を統括した皆神山などの宗教的拠点が存在する。虫藏山を拠点に念仏を勧め、平穏を祈った作仏聖による仏像が村々に数多く残る。



善光寺本堂

⑤ 「長野」に生きる人々の暮らしと文化

市域では山地・盆地で多様な生活文化が育まれた。生産生業・商品流通を背景として豊かな食文化が発展し、おやきに代表される粉食は今も人々に親しまれている。多様な生活文化を背景に、年中行事・祭礼・芸能が行われてきた。現在も道祖神祭、獅子舞、御柱祭などが行われ、神社や地域の祭事にあわせて花火の打ち上げも見ることができる。



篠ノ井越の
人形道祖神

【目指す将来像】「長野らしさ」を伝える文化財を活かした歴史文化都市

文化財の保存・活用に関する課題

1 文化財調査

- 膨大な文化財を行政だけで把握するのではなく、文化活動団体等と把握調査を進める必要がある。
- 指定文化財、未指定文化財、博物館等の収蔵資料の価値や実態は、不明な点が多いため、研究を通して明らかにしていく必要がある。
- 文化財の保存のため、修復に多額の費用がかかる。
- 所有者管理者の防災、防犯意識を高める必要がある。

2 文化財の保存

- 文化財の維持管理の担当手が減少しつつあり、拡大する必要がある。
- 文化財の保存のため、修復に多額の費用がかかる。
- 灾害や盗難等に備える

3 文化財の活用

- 子どもたちが文化財にふれる機会を増やすために学校との連携を図る必要がある。
- 観光客が魅力を感じるコンテンツの作成を進めていく必要がある。
- 各地域でそれ歴史文化の特性を活かしたまちづくりの将来像を、再構築する必要がある。

4 文化財の継承

- 文化財の担当手不足に対応するため、所有者だけではなく地域で文化財を担つていく体制を作る必要がある。
- 文化財の保存のため、行政以外の資金や資材調達の検討が必要である。など

文化財の保存・活用に関する方針、及び文化財の保存と活用に関わる措置の例

方針1 文化財を掘り起こす

地域で守り伝えてきた多様な文化財を市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、市民にも来訪者（観光客等）にも魅力ある長野の歴史文化の特徴を広く共有していく。

- 文化財を総合的に把握する
- 文化財を研究し価値づける

方針2 堀り起こした文化財を保存する

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。

- 文化財を適切に維持管理する
- 文化財を適切に修理する
- 災害や盗難等に備える

方針3 歴史文化の魅力を伝え活用する

市民や来訪者の誰もが、長野らしさを伝える多様な文化財の魅力を知ることができるよう、文化財を学ぶ機会の創出や情報発信を行い、文化財を核としたまちづくりや観光に活用し、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。

- 文化財を学ぶ機会を充実させる
- 持続可能な文化観光を推進する
- 文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る

方針4 文化財が継承される仕組みを作る

社会環境の変化による文化財の扱い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。

- 文化財の扱い手育成
- 文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る

10 文化財所有者管理者研修会

文化財の所有者管理者を対象とした研修会を毎年開催する。

- 行政、所有者 ■R6~13

25 国史跡松代城跡の保存整備事業
松代城跡の保存整備を進める。

- 行政 ■R6~13



1 市内仏教美術調査

市内社寺に所蔵されている仏教美術品の悉皆調査を行う。

- 行政、有識者・専門家 ■R6~13

54 歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化
茅刈り体験など文化財の保存に必要な材料調達の活動を体験型の観光コンテンツとして取り込む。

- 行政 ■R6~9



8 文化財の収集、整理

松代文化財ボランティアの会や博物館友の会と協働して、文化財の収集及び収蔵資料の整理、目録化を行う。

- 行政、住民・関係団体 ■R6~13



75 文化財修理に必要な原材料の確保支援

屋根材調達のため、戸隠茅場整備事業を実施する

- 行政、住民・関係団体 ■R6~13

13 長野市文化財保存活用地域計画【長野県】

文化財の一体的・総合的な保存と活用（関連文化財群）

長野市の関連文化財群

長野市の5つの歴史文化の特性から9つの関連文化財群を設定した。指定・未指定にどらわれず、共通の背景や文脈を持つことで、長野市の歴史文化に対する理解促進や地域毎の魅力向上が期待できる。

1 大地の記憶～海だつた長野



セイウチ化石

長野市の周囲の山々はフォオツサマグナの海底に堆積した厚い地層でできている。これらの中層からは貝類や魚類、海生哺乳類などの化石が発見されており、海だつたことがわかる。

2 「信濃国のはじまり」のはじまり



縁清水式土器

長野市域を中心とする善光寺平一帯には弥生時代から古墳時代かけての、「信濃国」成立へ向けた政治・経済圏の形成過程を知る上で重要な史跡や考古資料が集積している。

3 川中島の戦いと伝承



川中島合戦を描いた江戸時代の錦絵

北信濃の国衆を支援する上杉謙信と信濃支配を進め武田信玄の間で、5回にわたって長野市域で合戦が行われた。特に激戦となつた永禄4年の八幡原の戦いでは多数の戦死者を出した。彼らを弔う寺院、墓所が残されている。

4 松代城下町に伝わる武家文化



大門踊り

松代は真田信之が上田より移封して以来、明治の廢城まで約250年間、真田氏が城主として地域を治めた。多数の寺社建築とそこで営まれる祭礼が、重層的な歴史的風致を生み出している。

5 善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼



戸隠そば

6 自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化

標高2,000m級の戸隠山は、刃先のような稜線の山容をつくり、平安時代に修験者が入るようになつた。戸隠神社式年大祭は1月にわたり神事が執り行われる。戸隠には信仰に関わる歴史資料や遺跡、建造物、生活文化、風習が集積する。

7 里山の恵みを活かした暮らしと粉食



西山地域のオヤキ

長野市では米だけでなく大麦・豆・蕎麦・粟・稗を組み合わせて作ることが生活を支えた。西部中山間地域は和紙や麻が主力だった。生産生業を背景に特徴的な食文化が育まれ、粉食文化は日常的食事、行事食として根付いていた。

8 川と共に生きる 一千曲川水系と暮らしー



千曲川

長野市は千曲川の中流域にあたり、犀川・裾花川といいつた支流が流れ込む。河川の氾濫を経験しながら、豊かな土壌が育てられてきた。扇状地は水はけの良さを利用して果樹栽培が盛んである。人々の暮らしと深いつながりのある千曲川の恵みと災いについて普及啓発を進めていく。

9 長野市に伝わる多様な祭礼・行事



犀川神社の社煙火

市域の暮らししが多様なように、暮らしの節目節目で行われる民俗行事や祭りは多岐にわたる。市を特徴づける、獅子舞、煙火、御柱祭、道祖神行事など関わる小正月行事がある。

【関連文化財群9】長野市に伝わる多様な祭礼・行事

概要 市域の暮らしが多様なように、この地域で育まれた文化も多様なものがある。暮らしの節目節目で行われる民俗行事や祭りもその例に漏れない。例えば指定を受けている民俗行事や祭りに限つても、獅子神楽や基句・踊りといつた民俗芸能、道祖神信仰と関わつて行われる小正月行事、夏を前に行われる虫送り、秋の収穫を祝つて行われる煙火大会、かつて人々の楽しみみの場として機能していた庚申講など多岐にわたっている。そのなかで長野市を特徴づける民俗行事・祭りとしては、獅子舞、煙火、御柱祭、そして道祖神と関わつて行われる小正月行事を挙げることができる。

主な構成文化財



長谷及び越のドンドヤキ
篠ノ井地区。越ではオスガタと呼ぶ巨大な豪人形を作り、ドンドヤキで燃やす。



高岡の小豆焼き行事
若穂地区保科高岡区で正月15日にを行う年占行事。



御柱祭行列図大絵馬
東町の武井神社に万延元(1860)年に奉納された絵馬。その年の御柱祭の様子が細かに描かれている。

関連文化財群に関する課題

- 現在も行われている多様な祭りや行事のうち、指定されているもの以外については、現状を把握していないものがが多い。
- 地域住民の認知が薄れ行事参加の人数も少なくなっている祭りや行事が多くみられ、その廃絶が危ぶまれる。
- 市内の多様な祭りや行事について、その存在が広く周知されていない。



サイノカミの勧進行事
正月15日早朝、子どもたちが道祖神を持ち、各家を回る行事。
戸隠・芋井地区で行われている。



双体道祖神碑
(戸隠地区)



芦ノ尻の道祖神祭り
正月7日に行う。集落外から来る災いを防ぐためしめ縄を使つて道祖神碑に巨大な顔を作る。



犀川神社の社煙火
文政7(1824)年、それまで日吉神社と呼ばれて、社名の変更が認められたことを記念して始めたとされる。

関連文化財群に関する方針

- 文藝調査等で得られた市内の民俗行事や祭礼の現状を把握する。
- 伝承が危ぶまれている行事や技術の担い手育成を支援するとともに、記録映像を取ることで保存する。
- 情報発信を強化しそれぞれの文化財の認知度を高める。
- 道祖神行事のように、市域の特徴ある民俗文化財を積極的に情報発信する。

関連文化財群に関する主要な措置

1 行事、祭礼把握調査の実施 【新規】

市内の民俗行事・祭礼の現状把握調査を、地元の研究団体等と連携しながら行っていく。

2 伝統芸能継承支援事業

伝統芸能団体の活動や用具の修理等に対し支援を行う。

3 行事・祭礼の情報発信 【新規】

記録した行事・祭礼の映像や、主要な民俗行事・祭りの祭礼日カレンダー等を作成し、WEB上で公開する。

4 行事・祭礼の情報発信 【新規】

行政、文化財所有者、住民・関係団体 ■ R6~13

【参考】関連計画等

歴史的風致と重点地区

長野市歴史的風致維持向上計画（第2期） R6～13年度

〔概要版〕より

長野市の維持すべき歴史的風致



戸隠信仰にみる 歴史的風致

戸隠神社では、数え年で7年、式年大祭が行われます。能経の中は、中社。宝光社周辺の参拝道をはじめ、太々牛糞など、多くの人々が訪れます。江戸時代以前よりも多くの人々が訪れる戸隠神社の境内には、风方を行き交うための古道が今も残っています。この道は、地域住民による日常の通勤活動によつて、今も良好な状態に保たれています。

戸隠の伝統的な生業にみる 歴史的風致

織物打ち、竹細工、漆器、漆器など、戸隠力士に善いた生業は、多くの歴史者を入れ替りながら戸隠の歴史的まちなみと一緒にとなって組付いており、良好な歴史的風致をみることができます。



鬼無里の伝統的祭祀にみる 歴史的風致

鬼無里では白隠神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、鹿跡神社の祭礼などがあり、地域に暮らす人々は外にも、大学生など地域内外の若者がから高齋老まで嬉しい世代が参加しながら、屋敷も御座されています。



白隠神社の祭礼（左）
鹿跡神社の祭礼（右）

善光寺の御開帳にみる 歴史的風致

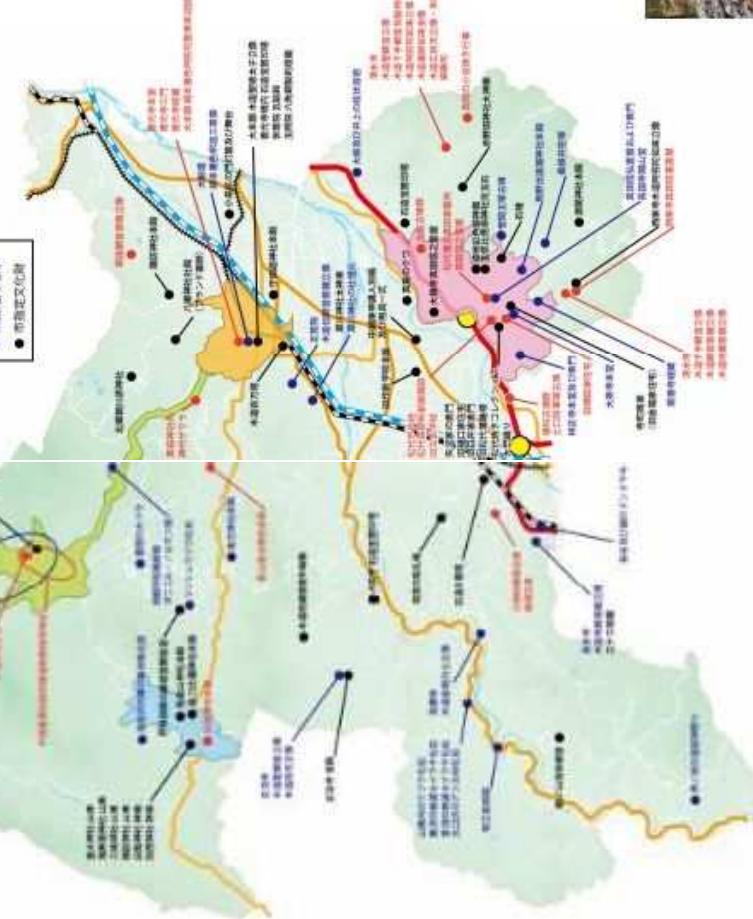
善光寺周辺には弥栄神社や善光寺三社、福神社、武井神社、妻利神社をはじめ、歴史ある寺社が点在しております。善光寺周辺に形成された歴史的なまちなみの中で、地域住民により伝統的な祭礼が受け継がれています。

善光寺の御開帳



中日新聞社撮影

●国指定文化財
●都指定文化財
●市指定文化財



善光寺周辺にみる 歴史的風致

善光寺では、数え年で7年に一度の丑と未の年に行立本尊の御開帳が催されます。期間中は、「中日新聞大法要」をはじめ、様々な法要等が行われます。

城下町松代と松代道にみる 歴史的風致

奥田十万石の松代城下町には、松代城跡や武家屋敷地帯に水路がめぐつております。泉涌（池）のある庭園をもつ歴史的建造物が残っています。また、松代城下町と北国街道松代道で結ばれる若狭川田地境には、歴史的まちなみと火防信仰、祭礼などが一体となって生活中深く浸透した風致が見られます。



大室古墳群にみる 歴史的風致

大室古墳群には、石を積み上げて墳丘とした「隅石原」や「合掌形石室」と呼ばれる特異な構造の埋葬施設が集中しています。これらは、大正時代初頭より、大室地区の地元住民を中心とした保存会によって、保存・維持されていきます。



古事記保存会